

平成17年度 事務事業評価表					
〔様式1〕					
記入年月日	平成17年4月25日		記入者	内線	5219
部名	生涯学習部	課名	生涯学習課	課長名	佐藤 清
事務事業名	人権教育事業				
予算上の事務事業名	人権教育事業				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		15110		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政策名	第5章 いきいきとした生涯学習社会をつくります				
基本施策名	第1節 生涯学習の推進				事業開始年度
施策名	第1施策 生涯学習機会の充実				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分 研修・講座 ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)			(2) 対象(誰、何)		
社会教育関係団体の指導者及び市民の人権・同和問題に対する正しい理解と認識を深め、人権尊重に対する意識の高揚を図るとともに、差別のない社会づくりを推進する。			社会教育関係団体の指導者及び市民		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
<p>人権・同和に関する講演会  開催日 平成17年2月10日(木) 会場 市立あじさい会館  内容 第1部 映画「夢追いかけて～浜名湖発 学び座」  第2部 講演 講師：河合 純一氏 (アテネパラリンピック競泳金メダリスト)  (講師謝礼等 301千円)</p> <p>人権と差別を考える講座  開催日 平成17年2月11日、19日、26日、3月19日 会場 大野南公民館  テーマ ライフプラン講座「自分の未来を輝くものに」  (講師謝礼 80千円)</p>					
6 関連・類似事業や他市の状況					
他自治体も同様の目的で実施している。他中核市等と比較すると講演会、講座等の実施回数はやや少ないが、教育委員会内での事業の整理がされた結果と考えられる。 本市における類似事業として、市長部局(地域福祉課主管)主催の一般市民を対象とした人権講演会がある。					
7 事業費の推移 [単位：千円]					
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	294	465	381	334	334
一般財源	294	465	381	334	334
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	84	81	81	81	81
事業コスト合計(a)	378	546	462	415	415
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	人権・同和に関する講演会			対象名称(単位)	参加者数(人)
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	164	278	301	214	214
対象数	130	160	130	200	250
単位あたり経費(円)	1,262	1,738	2,315	1,070	856
前年度比		1.38	1.33	0.46	0.80

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化						
指標名 (単位)	参加者数（人）		指標式と指標の説明	参加者数		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）	
実績	130.0	160.0	130.0			
目標	200.0	200.0	200.0	200.0	250.0	
目標達成度	0.65	0.80	0.65			
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標						
指標名 (単位)	参加者の満足度（％）		指標式と指標の説明	アンケートで良かった又は感動したと回答した人/アンケート回収者×100		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）	
実績	0.0	81.0	86.0			
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
目標達成度	0.0	81.0	86.0			
11 個別評価						
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】						
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。				
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。				
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】						
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。				
	<input type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。				
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】						
B	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。				
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。				
	<input type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。				
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】						
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。				
12 総合評価						
(1) 自動判定結果						
	〔 〕：良好な状態を維持する事業					
	〔 〕：概ね良好な状況である事業					
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業					
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業					
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明			
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実				
	<input type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 講演会の内容に合った、休日開催などの講演日時の検討。 一般市民も含めた多数の参加者が、動員等によらず参加できる魅力的な内容の検討。パンフレットの置き場所を工夫するなどの、周知方法の検討。			14 課題として認識されたこと 身近な学習機会の提供場所である公民館での人権講座の積極的な開催を促進する必要がある。			
15 二次評価						
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント			
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実				
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				
			効果的な事業実施を推進する。			